

は　じ　め　に

この度はCARDMATEプリンタをお買い上げ頂き、誠に有難うございます。

このプリンタをご使用するにあたり下記の諸注意をお読みの上、末永く


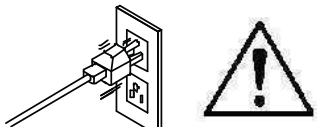
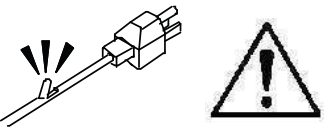
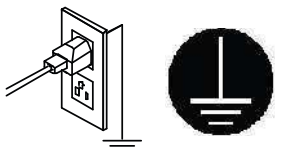
ご利用いただけますようお願い申し上げます。

●安全にご使用いただくために

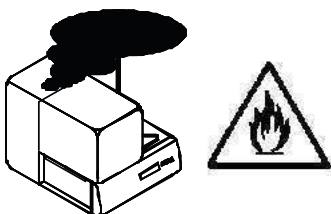
安全にお使いいただくために、以下の注意を必ずお守りください。

また、本項に記載されていること以外には行わないでください。思わぬ事故を起こしたり、火災や感電の原因になります。

◆電源について

<p>●濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。 感電の原因になります。</p>	
<p>●電源コードは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。 差し込みが不十分だと、火災や感電の原因になります。</p>	
<p>●痛んだ電源コード、緩んだコンセントは使用しないでください。そのまま使用すると、漏電し、火災や感電の原因になります。</p>	
<p>●必ずアース線を接続して使用してください。 アース線がアースに接続されていないと、感電の原因になります。</p>	

◆万一異常が起きたら…

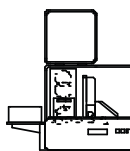
<p>●万一煙りが出たり、変な臭いがするなどの異常が起った場合、そのまま使用を続けると、火災や感電の原因になります。 すぐに電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いて、当社サービス窓口までご連絡ください。</p>	
---	--

◆その他

●プリンタの分解、改造はしないでください。

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因になります。

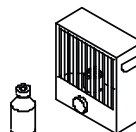
点検、修理は、購入された販売店または当社サービス窓口までご連絡ください。



◆クリーニング液について

●クリーニング液は引火性溶剤です。

加熱したり、火の側に置かないでください。
火災の原因となります。



●子供の手の届くところに置かないでください。

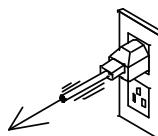
誤って飲み込むと大変危険です。万一飲み込んでしまった場合は、最寄りの医師にご相談ください。



◆電源について

●電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

コードを引っばると電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。

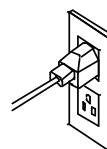


●AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。

火災や感電の原因になることがあります。

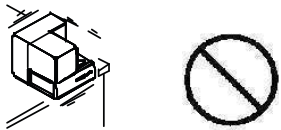
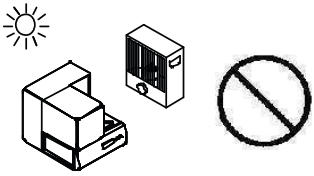
電源電圧 : AC100V

電源周波数 : 50 / 60 Hz

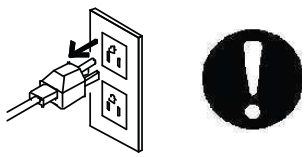


AC100V



◆設置場所について

<p>●不安定な場所や振動のある場所に設置しないでください。 プリンタが落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。</p>	
<p>●湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所、高湿や火気の近くには設置しないでください。 火災や感電の原因になることがあります。 周囲の温度が5～35℃、湿度が10～80%（結露しないこと）の範囲の場所でお使いください。</p>	

◆清掃時の注意

<p>●清掃の時は、必ず電源コンセントを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。 ショートや感電の原因になります。</p>	
--	---

◆動作中の注意

<p>●本体カバー開閉時には、手や指を挟まないように注意して行ってください。 けがの原因となります。</p>	
<p>●動作中はプリンタの中に手や物を近づけないでください。 けがや故障の原因となります。</p>	

目 次

●安全にご使用いただくために	1
●主な仕様	6
●設置上の注意	7
●本装置使用上の注意	8
●開梱時の確認	10
●排紙トレイの取り付け方	11
●コンピュータとの接続	12
●電源ケーブルの接続	13
●各部の名称	14
●オペレーションパネルの説明	16
●T R I A Lモードについて	17
●エラーメッセージについて	18
●日常の作業	
・インクリボンの交換	19
・用紙のセット	25
・ヘッド圧力調整	27
・用紙ジャムの取り除き方	28
・リボンの弛み調整	29
・プリンタヘッド交換	29
・印字位置調整	29
・斜行調整	30
・リボン剥離板の取り付け方	31
●各部の清掃	
・プリンタヘッド、プラテンの清掃	32
・取り出しローラー、ピンチローラーの清掃	33
・第一ピンチローラーの清掃	34
・センサーの清掃	35
●オプション品と消耗品	36

◆プリンタドライバ編

●プリンタドライバ編	39
1. インストール	39
1. 1 パラレルインターフェイス接続～インストール	39
1. 2 USB インターフェイス接続～インストール	44
1. 2. 1 インストール手順1	44
1. 2. 2 インストール手順2	47
●印刷時の各種設定の操作	52
1. 印刷プロパティ	53
2. Digica のプロパティ	53
2. 1 用紙設定のタグ	53
2. 1. 1 用紙サイズ	53
2. 1. 2 用紙方向	53
2. 1. 3 回転印字	54
2. 1. 4 部数	54
2. 1. 5 バージョン情報	54
2. 2 画質設定のタグ	54
2. 2. 1 二値化処理	54
2. 2. 2 コントラスト	54
2. 2. 3 エッジ処理	55
2. 3 動作設定のタグ	55
2. 3. 1 印字濃度	55
2. 3. 2 印字速度	55
2. 3. 3 印字位置補正	55
2. 3. 4 金箔印刷	55
●主要項目の解説	56
1. 用紙設定の詳細	57
2. 画質設定の詳細	57
3. 動作設定の詳細	58
＜付録＞ 文字を美しく印字させるテクニック	61
アフターサービスについて	63

●主な仕様

型式	卓上型 名刺・はがき専用プリンタ
印字方式	熱転写方式（端面ヘッド）
印刷解像度	1200dpi相当（主走査600dpi、副走査1200dpi）
最大印字幅	104mm（長さ：256mm 但し延長スタッカー使用時）
最大印字領域	幅102mm×長さ256mm
最大用紙サイズ	幅120mm×長さ260mm
最小用紙サイズ	幅85mm×長さ49mm
用紙厚さ	0.16mm～0.38mm
インクリボン	専用インクリボン
給紙方式	水平給排紙 最大300枚（名刺 0.18換算にて）
印字速度	50mm/sec 平均
印字精度	±0.5mm
インターフェイス	USB2.0 パラレル（セントロニクス準拠）
OS	Windows 2000／XP／Vista MacOS 8.6～9.2，10.3x～10.4x※注1
大きさ	（W）362×（D）316×（H）363 mm （但し、排紙トレイなどの突起物は含まず）
重量	約25Kg（但し、排紙トレイを除く）
電源	AC100V±10%、50／60Hz
消費電力	動作時300VA以下 待機時50VA以下
動作環境	5℃～35℃、35%～85%RH（結露なきこと）

※用紙の上下左右各2mmは印字保証外領域です。

※単カード等では最大印字領域幅102mmのため、印字できない空白が発生します。

※注1：別途 Mac インターフェイスキットが必要となります。

●設置上の注意

本機器は精密機器です。

次の設置環境を配慮していただくことにより、安定な動作をし、安心してご使用いただけます。

- ① 交流電流AC100Vは必ずアース付き工事をしたコンセントからとり、また電圧変動の少ない電源から供給してください。
近くに消費電力の大きい電機製品（例えば大型冷蔵庫など）があると、その機器が作動した時に電源AC100Vは瞬時に電圧が変動したり、雑音が発生して誤動作の原因となります。
- ② 高湿、多湿の場所への設置はさけてください。
電子回路故障の原因となります。
- ③ じん埃の多いところへの設置はさけてください。
精密電子回路のため、調整にくるいが生じ故障の原因となります。また、機器の耐用寿命も短くなります。
- ④ 直射日光の当たる場所への設置はさけてください。
各種光学センサーおよび光学読み取り器を装備しているので、直射日光があたると誤動作の原因となることがあります。
- ⑤ 低温（5℃以下）の場所への設置はさけてください。
駆動部の潤滑油の粘度がかたくなり動作が不安定になることがあります。
- ⑥ 静電気発生時期においては、人体をふくめ出来る限り除電を行った後操作する様にして下さい。
誤動作や重送等の原因となります。

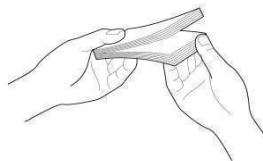
●本装置使用上の注意

注意

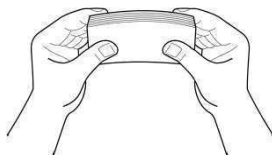
このプリンタは熱転写方式のため、本機で作成されたはがきをレーザープリンタなどに通すと、印刷されたリボンが溶けてしまい、レーザープリンタにも悪影響を与えます。絶対に使用しないようにご注意ください。

用紙について

- ・本機での用紙評価は山桜用紙で実施しております。
他メーカー品用紙での評価は行っておりません。
- ・本機ではエンボス、レザック、表面のざらついた用紙、トレーシング、桐、一部の和紙などは美しく印字されません。
- ・0.16mmより薄い用紙の場合、2枚送りなどの発生が考えられますので、ご使用しないください。
また、インクジェット用紙も種類により（特に光沢紙）重送の発生が考えられますので、出来る限りご使用にならないで下さい。
- ・用紙の材質によっては一部カールする場合があります。
- ・紙粉やパウダーなどはプリンタヘッドの破損や給紙不良・印字不良の原因となりますので、用紙をセットする前に用紙をよくさばいてからセットしてください。



- ・「しわ」や「カール」している用紙は使用しないでください。使用する場合には手前逆向きに曲げてカールを直した後にセットしてください。



インクリボンについて

- ・高温多湿の場所、温度/湿度が急激に変化する場所、直射日光のあたる場所、埃の多い場所、火気/熱気のある場所、水気のある場所等では保管しないでください。
- ・インクリボンの消費期限はご購入後 約6ヶ月間です。期限が経過すると、印刷の抜け(かすれ)が発生しやすくなりますので、ご購入・開封後はなるべく早めにご使用ください。
- ・印字品質、サーマルヘッド寿命、リボン送り安定度や、プリンタ本体の寿命などに大きく影響しますので、必ず当社純正リボンをご使用ください。
- ・プリンタを使用しない時は、インクリボンを外し、箱に入れ、直射日光をさけ、冷暗部で埃のかからない場所に保管してください。

印字濃度について

- ・印字濃度はプリンタドライバーにて“1”～“20”までの任意設定ができ、大きい数字になるほど印字濃度は濃くなります。(初期設定値は10)
- ・通常は、初期設定値にて適正な印字品質を得ることが出来ますが、紙質、インクリボン仕様によっては適正な印字品質を得るために設定を変える必要があります。
(詳細は後記プリンタドライバ編を参照)
- ・印字濃度は必要以上に濃くしますと、逆に印字全体が薄くかすれた状態(再剥離状態)になってしまいます。
- ・印字濃度は濃くするに従ってプリンタヘッドには負担がかかるため、必要以上の設定はプリンタヘッドの寿命を早めることになるので、濃度設定は必要最小限の設定を心がけるようにしてください。
- ・また、本機は印字濃度、印字スピード、ヘッド圧により、印字定着をコントロールできるようになっています。このことから印字濃度でかすれ発生の場合には少し印字スピードを落とす、又はヘッド圧をHにすることにより定着を良くすることができます。

印字保証外領域と印字不可領域

- ・印字保証外領域 : 用紙先端/後端左右 各2mm
※箔印字の場合は用紙先端・後端6mmとなります
- ・印字不可領域 : 用紙幅が104mmを越える場合には、越える部分への印字はできません

●開梱時の確認

- ・本機以外に、次の付属品が同梱されています。ご確認ください。

万一、不足しているものがある場合は、ご購入の販売店又は弊社までご連絡ください。

◆同梱内容

名 称	数 量
プリンタユーザーズガイド	1 冊
プリンタドライバCD-ROM	1 枚
保証書	1 枚
ユーザー登録書	1 枚
年間保守契約書	1 枚
インクリボン色見本	1 枚
排紙トレイ	1 個
電源ケーブル	1 本
剥離板（金箔印刷用）	1 枚
プリンタケーブル	1 本
ヘッドクリーナーペン TH-120	1 本
クリーニングシート	1 枚
インクリボン（黒）	1 本
名刺用紙 100枚入り	1 個
はがき用紙 100枚入り	1 個

●排紙トレイの取り付けかた

給紙台は、以下の手順で排出口の下側に取り付けます。

- ①本体の用紙排出口にあるトレイ受けがあります。
トレイを差し込む穴を確認します。



トレイ受けの穴に差し込む

- ②差し込み穴に排紙トレイを差し込むと
セット完了です。

- ③印字する用紙に合わせてガイドを調整します。



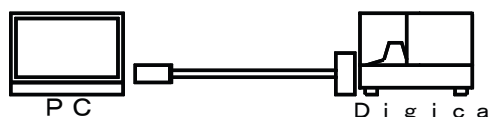
トレイをセットした状態

●コンピュータとの接続

本機は USB2.0 とパラレルインターフェースを装備しており、各種コンピュータへ接続することができます。

但し、接続するコンピュータによりインターフェースが異なりますので、ご注意ください。

(パラレルインターフェースの場合、接続モードを E C P 接続にしておくと転送速度が速くなります)



- ①コンピュータと本機の両方の電源が切れていることを確認してください。

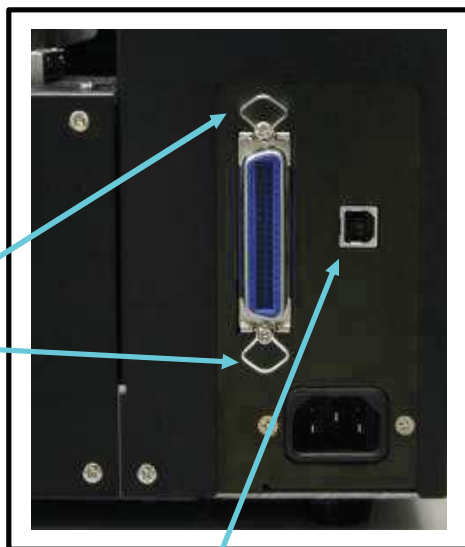


- ②インターフェースケーブル（プリンタケーブル）プラグを本機パラレルインターフェース又は、USB コネクタに接続します。

- ③パラレルケーブルの場合はクランプでプラグを固定します。

クランプ

- ④インターフェースケーブルのコンピュータ側プラグをコンピュータのコネクタへ接続します。



USB コネクタ

●電源ケーブルの接続

電源ケーブルは付属品をご使用ください。

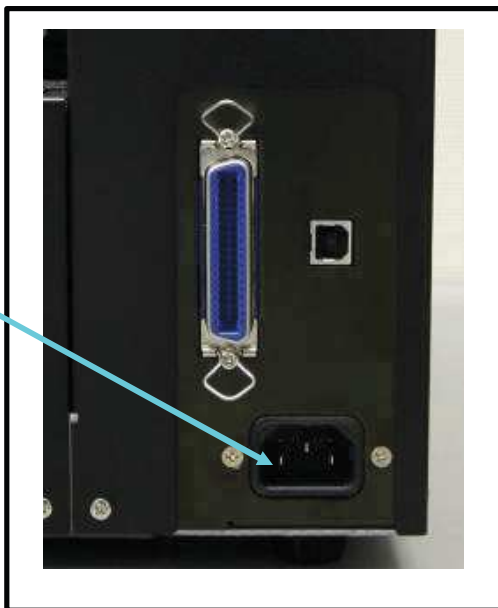
①本機の電源が切れていることを確認します。



②本機側面の電源ケーブル接続部に、付属の電源ケーブルを差し込みます。

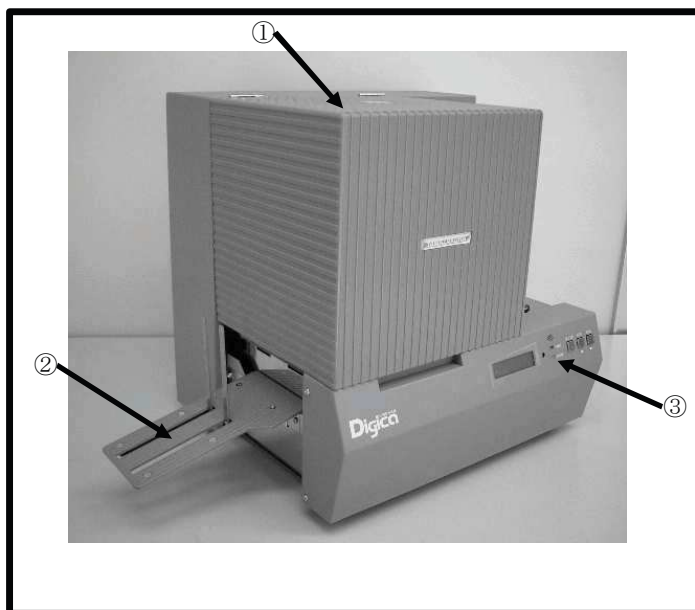
電源ケーブル差し込み口

③電源ケーブルのプラグをコンセントに差し込みます。

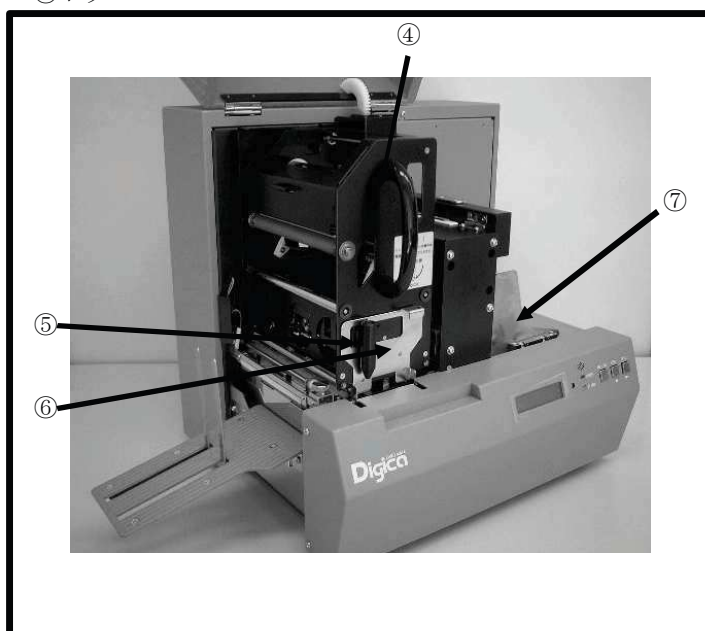


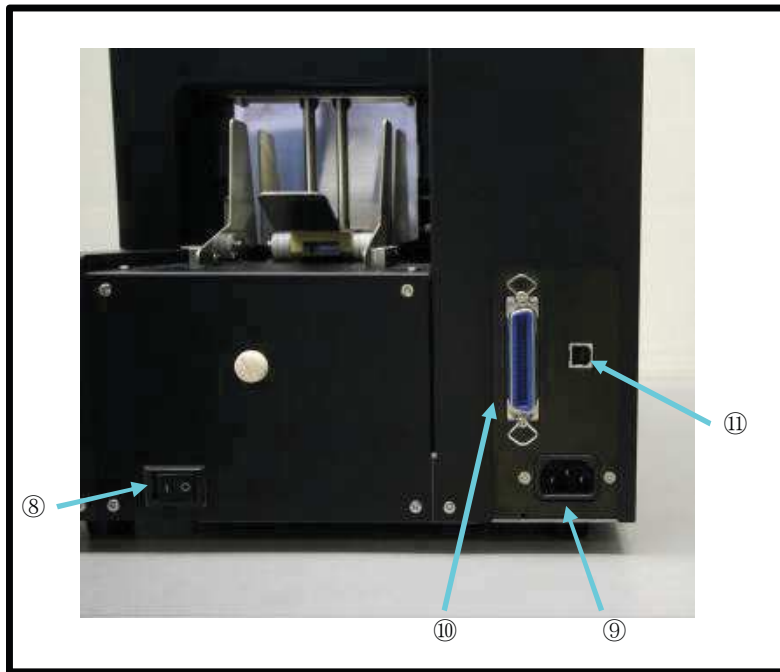
本機の電源スイッチがオンのときは、電源ケーブルを差し込まないでください。感電や故障の原因になることがあります。

●各部の名称



- ①フロントカバー ②排紙トレイ ③オペレーションパネル
④リボンカセット ⑤ヘッドロックレバー⑥ヘッド押さえ板
⑦ホッパー

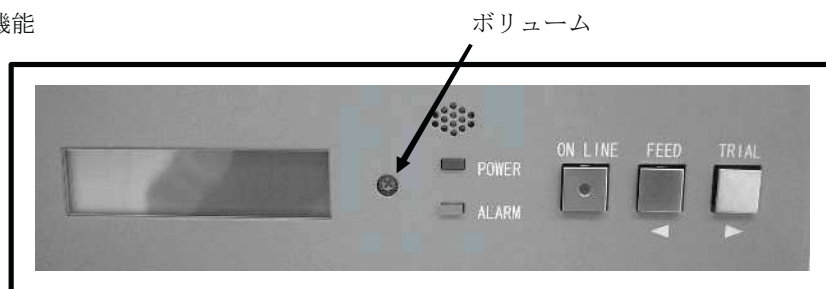




⑧電源スイッチ ⑨電源コンセント ⑩パラレルインターフェイス ⑪USB インターフェイス

●オペレーションパネルの設定

・操作方法と機能



スイッチ

ON LINE	オンライン／オフラインの切り替えを行うスイッチです。 オンラインの状態ではコンピュータからの印字出力が行えます。
FEED	オフラインの状態にて紙送り動作を行います。
TRIAL	このスイッチを押すことにより、TRIALモードになります。 このスイッチを押してから印字出力データをコンピュータより送りますと、送信した枚数とは関係なくテスト印字が1枚できます。 品質状態に問題がない場合、ON LINEスイッチを押すと残りのデータを印字します。 品質を調整したい場合はTRIALスイッチ5秒間押しおきますと印字データがリセットされます。

ランプ

POWER	プリンターに電源が投入されている時点灯します。
ON LINE	オンライン状態時に点灯します。
ALARM	プリンターの状態を表します。 <消灯> プリンターが動作していないときはランプが消灯しています。 <緑色に点灯> プリンターが印字動作中はランプが緑色に点灯しています。 <赤色に点灯> エラー発生時に赤く点灯します。

ボリューム

ボリュームを調整することにより、表示パネルの濃度が可変できます。

● TRIALモードについて

TRIALモードは通信によりデータを送受信するシステムのための機能です。
通常の印刷では使用しません。

- ① TRIALスイッチを押します。

オンライン	
トライアルモード	0 0 0 0

- ② コンピュータより印字するデータを数枚指定し送信します。

データジュシン	
トライアルモード	0 0 0 0

- ③ 1枚のみ送信したデータを印字します。

印字終了と共にON LINEスイッチのランプが消灯しオフライン状態になります。

- ④ 印字品質などに問題がないかを確認します。

- ⑤ 問題がない場合、ON LINEスイッチを押しますと、送信データの印字を再開します。(XXは送信したデータ枚数)

データジュシン	
トライアルモード	0 0 X X

- ⑥ 印字品質を修正、濃度を変更したい場合、TRIALスイッチを5秒間押し続けると、本機側で受け付けている残りの送信データをリセットする事が出来ます。

(リセット完了時にブザーがなります。)

※リセット中の表示XXXは累計印字枚数を表示しています。

オフライン	
0 0 0 0 0 X X X	

- ⑦ TRIALモードを終了する場合は、もう一度TRIALスイッチを押すと通常のオンラインモードになります。

●エラーメッセージについて

本機をご使用中にエラーメッセージを表示した場合は、その内容に従って対処してください。

万一本機が復旧しない場合は、ご購入の販売店又は弊社サポートセンターまでご連絡ください。

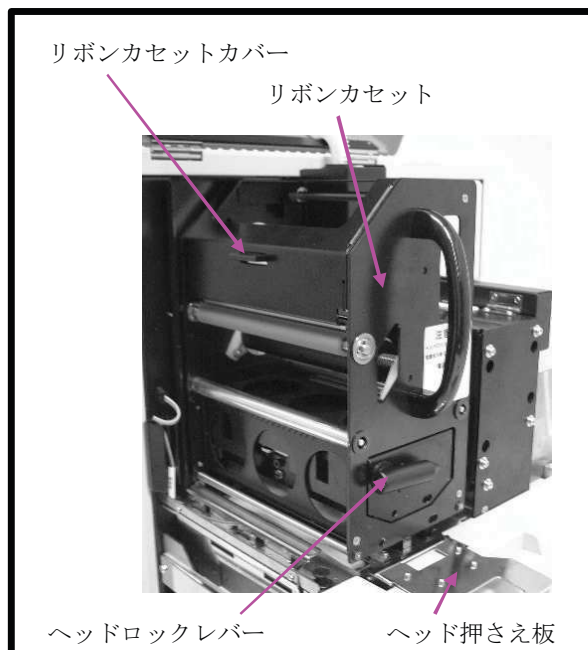
表 示	原 因	処 置
ペーパーエンド	・ホッパーに用紙がありません。	・ホッパーに用紙をセットしてください。
リボンエンド	・インクリボンがなくなりました。	・新しいインクリボンをリボンカセットにセットしてください。
ヘッドロックエラー	・ヘッドロックレバーがロックされていません。	・ヘッドロックレバーをセットしてください。
ジャムエラー	・用紙が本機内部でつまっています。	・つまっている用紙を取り除いてください
カバーオープン	・フロントカバーが開いています。	・フロントカバーを静かに閉じてください
リボンカセットエラー	・リボンカセットがセットされていません。	・リボンカセットを本機へセットしてください。
ナイブエラー	・本機内部で何らかの障害が発生しています。	・直ちにご購入の販売店までご連絡ください。
スタックエラー	・用紙が排出口でつまっています。	・つまっている用紙を取り除いてください
クロックエラー	・CPU 基板のクロックに異常が生じました。	・一度電源をOFFにし、再度電源を立ち上げ直してください。

● 日常の作業

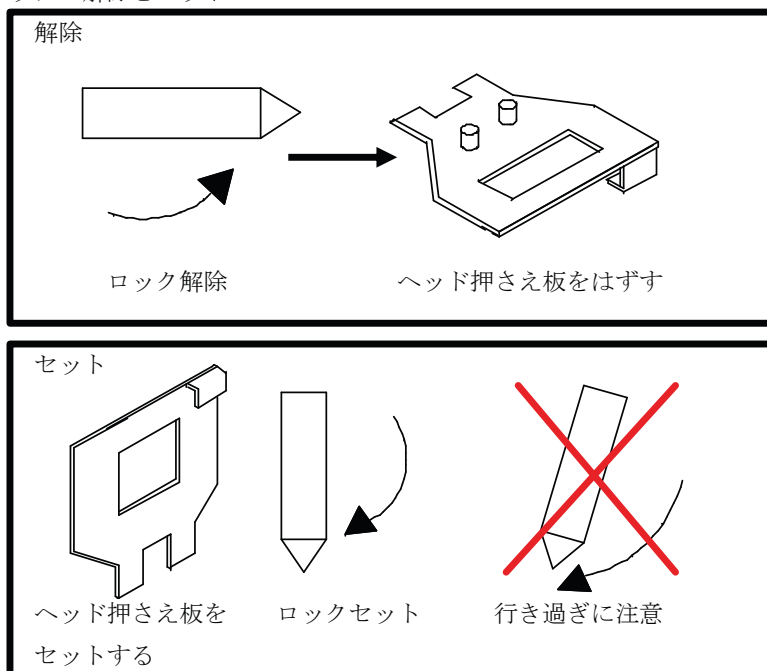
■ インクリボンの交換

1. 本体よりリボンカセットを取り外します。
まず、ヘッドロックレバーを解除させ、
ヘッド押さえ板を手前に倒します。
取っ手を持ち、リボンカセットを
引き抜きます。

注：リボンカセットをセットする時は
必ず電源ONの状態で行ってください。



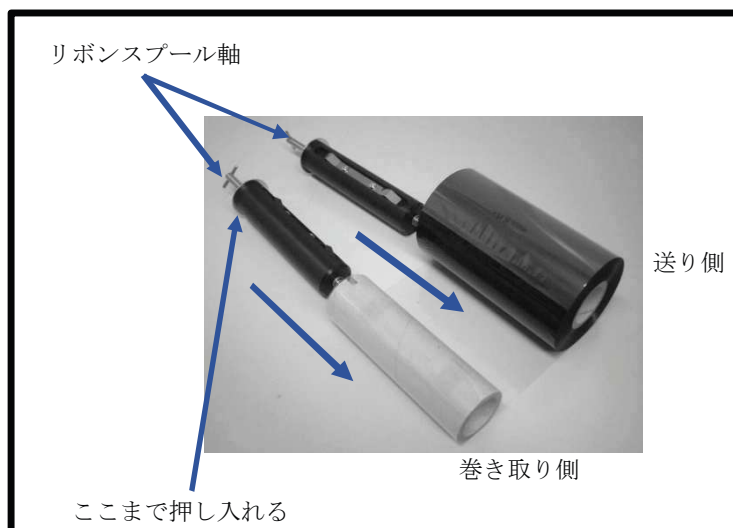
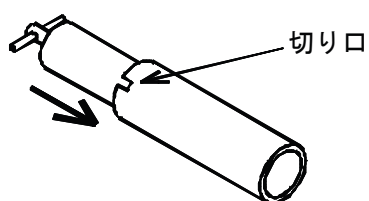
● ヘッドロックの解除とセット



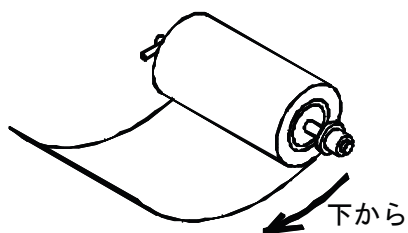
2. リボン軸（スプール軸）にインクリボンを差し込みます。

それぞれリボンスプール軸の奥へ
付きあたるまで差し込みます。

- ・リボンスプール軸の挿入に当っては、リボンの紙筒に切り口がある方に下図の様に挿入して下さい。
（巻き取り側、送り側同様です）



（注）リボンスプール軸の形状と、
送り側・巻き取り側のリボンの
位置を図の通りになる様に
セットしてください。



リボンスプール軸をインクリボンにセットした状態

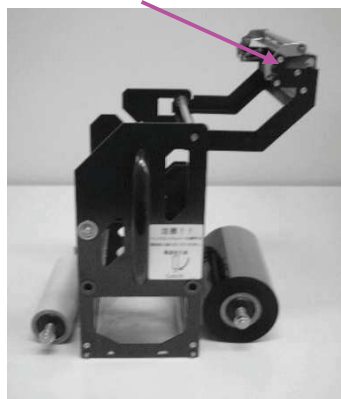


3. リボンスプール軸をリボンカセットへセットします。

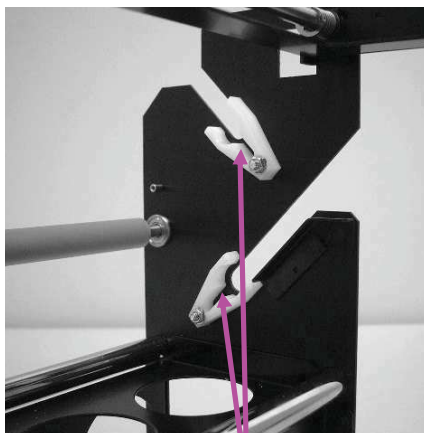
- ・まず、リボンカセットカバーを開けます。

- ・右図の様に、リボンスプール軸をセットしたインクリボンを準備し、その上にリボンカセットを置きます。

カバーを開ける



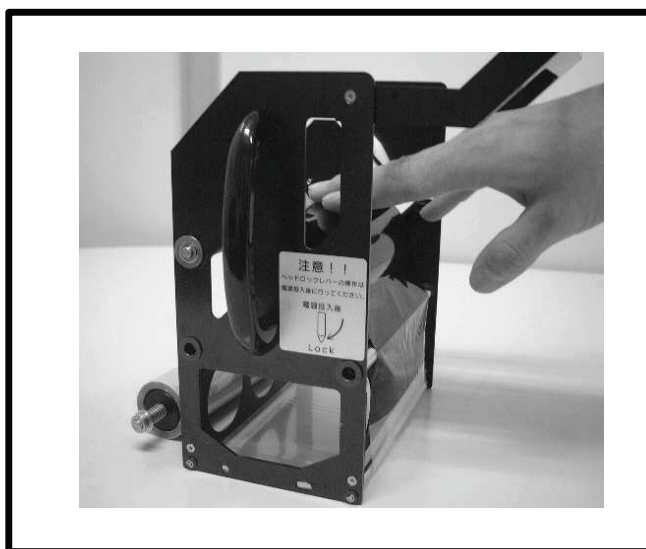
- ・リボンスプール軸をセットする箇所を確認します。
右図の箇所にリボンスプール軸をセットする軸受けがありますので、ここにセットします。
※下側に送り側リボンをセット
上側に巻き取り側リボンをセット



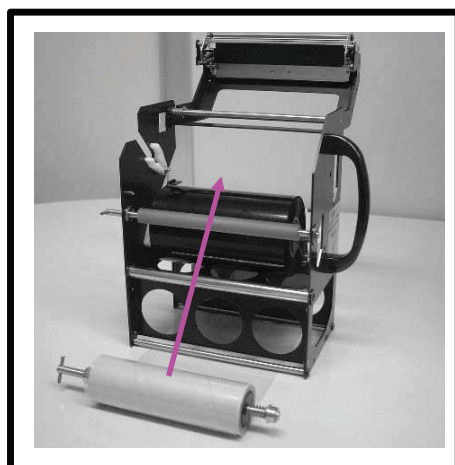
ここにリボン軸をセットします
(両側にあります。)

- ・図のようにリボンカセット裏面から斜め下に送り側リボンをセットします。

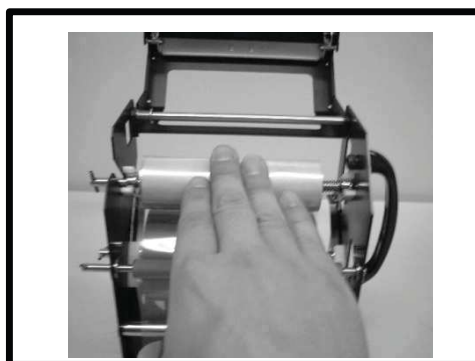
(カチットはまるまでセットします)



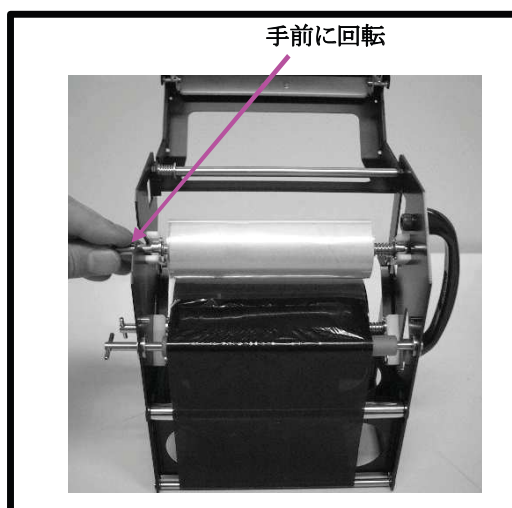
4. 巻き取り側のリボンをそのまま乗せる感じで斜め下にセットします



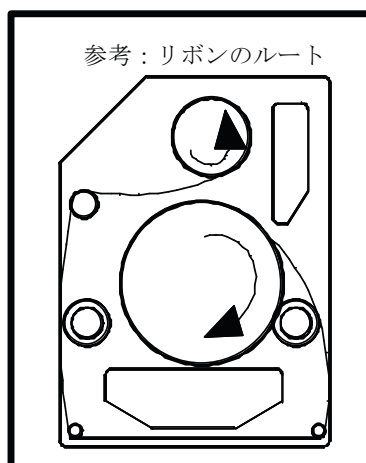
(カチットはまるまでセットします)



5. リボンスプール軸の左側を**手前に回転**させ、透明シートがなくなるまで巻きます。
カセットに矢印マークがついております
(矢印の方向へ回してください)

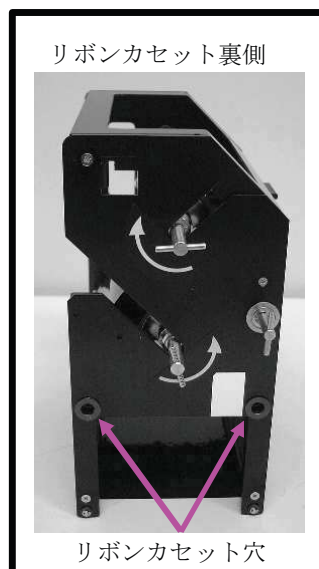


6. リボンカセットカバーを閉めます。

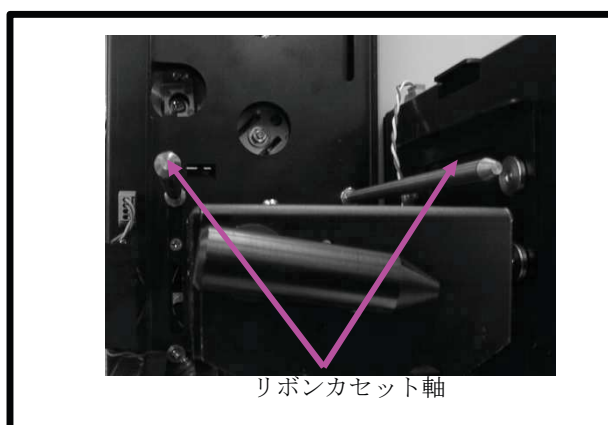


7. 次にリボンカセットを本機にセットします。

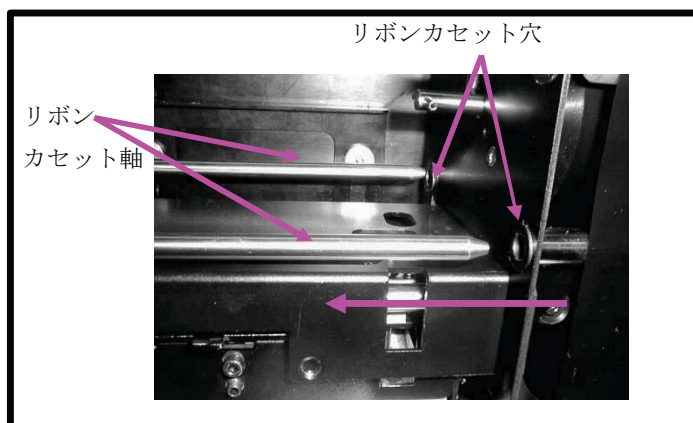
- ・リボンカセットの穴を確認し、リボンカセット軸へゆっくりと平行に入れていきます。
- ・最後まで入りましたらヘッド押さえ板をセットし、ヘッドロックをセットします。



- ・注) リボンカセットが正常に入っていない場合、ヘッドロックがセット出来ません。
再度リボンカセットを入れ直してください。



- ・注) リボンカセットをセットする場合は、必ず電源ONの状態で行って下さい。
電源OFFの状態で行うと、ヘッドロックが固くなりロックできない場合があります。



■用紙のセット

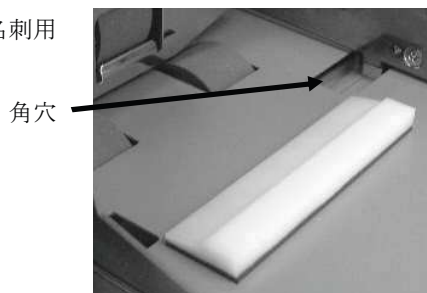
1. 添付の枕をホッパーにセットします。
セット位置は用紙のサイズ（名刺／はがき）
によって異なります。
セットの位置は以下を参考にして下さい。

①はがき用



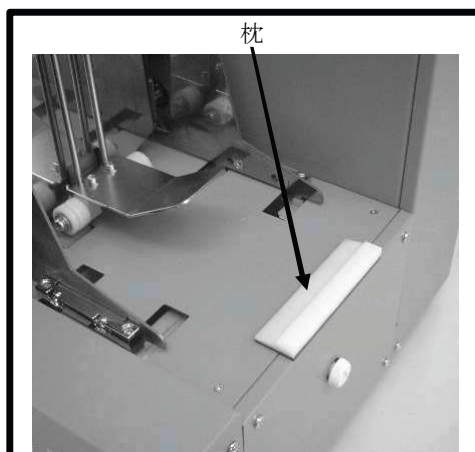
ホッパー後端と枕後端を合わせる

②名刺用

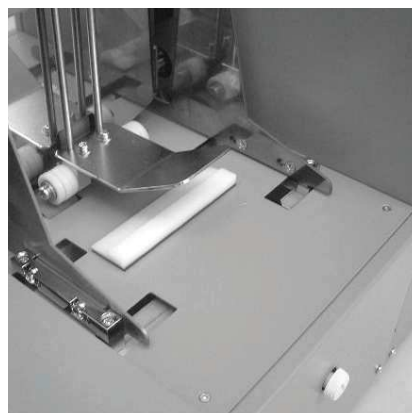


角穴後端と枕先端を合わせる

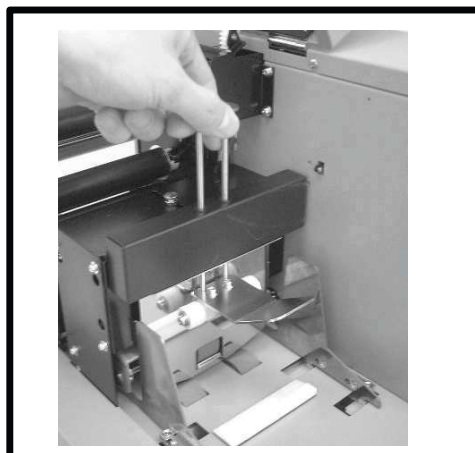
2. ホッパー部のウエイトを手で引き上げます。



はがきセット時



名刺セット時



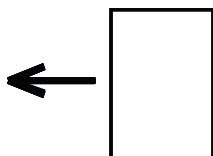
3. 印字する用紙を付きあて板にあてて先端をそろえ、用紙ガイドを左右同時に手でスライドさせ、用紙の幅に合わせます。
(中央合わせ)

4. ウェイトを静かに下ろします。

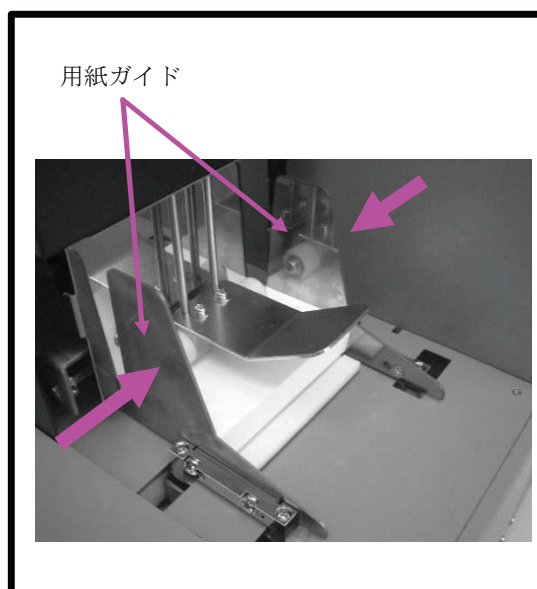
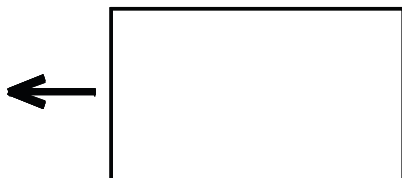
以上で用紙のセットは終了です。

* 印字したい面を上にしてセットして下さい。

* 名刺は横向きにセットして下さい。



はがきは縦向きにセットして下さい。

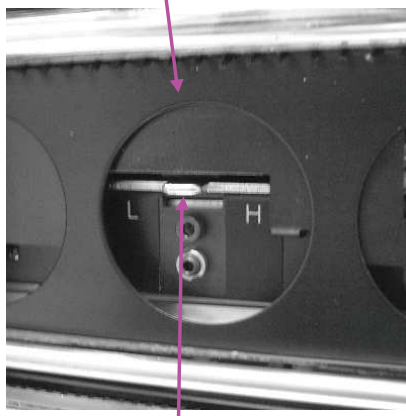


■ヘッド圧力調整

1. ヘッドロックレバーを解除します。



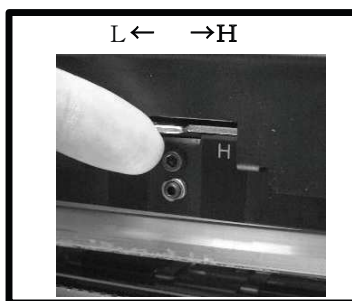
2. 右図に圧力調整レバーが確認できます。
このレバーを右側にスライドさせると
圧力を上げることができます。
(通常は左側)



圧力調整レバー

・必ず“カチッ”と音がするまでスライド
させて下さい。

3. 圧力調整レバーを調整後リボンカセットを入れ、
ヘッドロックレバーをセットします。



* 「H (High)」の設定は、官製はがきや表面の材質があまり良くない用紙の時に、ご使用下さい。
「H」の設定から「L (Low)」へ戻す場合、戻しにくい場合があります。
その際はヘッドロックレバーを動かしながら行くとスムーズに行えます。

注) リボンカセットを取り除いた状態で操作します。

■ジャム用紙の取り除き方

搬送中に用紙がつまってしまった場合の用紙の取り除き方です。

1. ヘッドロックレバーを解除させ、ヘッド
押さえ板を手前に倒します。
取っ手を持ち、リボンカセットを引きぬ
きます。
2. 印字ユニット固定ビスを緩め印字ユニット
を上に取り上げます。
3. 一番上まで引き上げたら固定ビスを締め
印字ユニットを固定させます。
4. ピンチローラーユニットの下に用紙が
詰まっている時には、ピンチローラーの
止めネジを外して、ユニットを軽く持ち
上げ、下に詰まっている用紙を取り除き
ます。
5. 印字ユニットを手で持ち、固定ビスを緩め
印字ユニットをゆっくり下ろし、固定ビス
を締めます。

**注) 印字ユニットを下ろすときは、
ゆっくりと最後まで下ろしてください。**

用紙を取り除くことができれば終了です。

- * 固定ビスを緩めるには、マイナスドライバー（コイン等）が必要です。
- * 固定ビスを緩める時、完全に緩めますとネジがとれてしまいますのでご注意ください。
ピンチローラーユニットを取り外し、用紙を取り除いて下さい。



■リボンの弛み調整

リボンが緩んでいる場合にはリボンカセットを取り外し、カバーを開け、巻き取り側のリボンスプール軸をカセットにある矢印の方向に回して下さい。

■プリンタヘッドの交換

プリンタヘッドは消耗部品で、破損や寿命で交換が必要になります。
プリンタヘッドの交換はサービスマンによる交換となりますので、サポートセンターへご連絡ください。

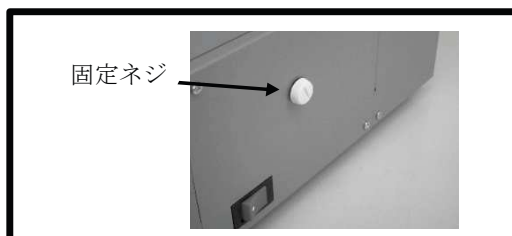
■印字位置調整

印字位置調整はプリンタドライバ上の設定により行えます。
後記、プリンタドライバ編をご参照ください。

■斜行調整

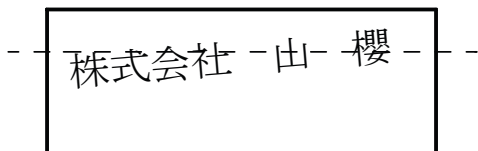
出力された印字が曲がって印字されている場合、ホッパーガイドを斜行に合わせて調整します。

1. 固定ネジを緩め、ホッパーガイドのロックを解除します。



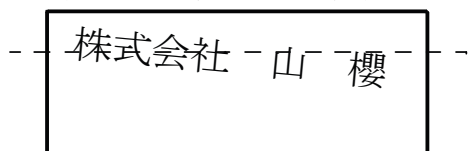
2. 斜行の状況に合わせてホッパーガイドを右もしくは左に傾けます。

・ 右肩上がりに斜行している場合

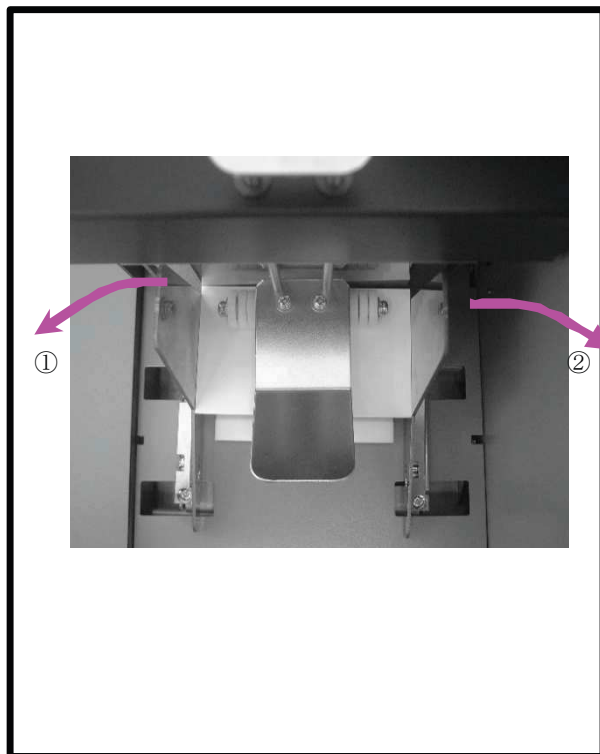


①の方向に傾けます

・ 左肩上がりに斜行している場合



②の方向に傾けます



3. ホッパーガイドを手でおさえながら固定ネジを締め込んでホッパーガイドをロックします。
4. 印字を1枚ずつ出力しながら斜行に合わせてホッパーガイドの位置を少しずつ調整します。
5. 上記3・4の操作を繰り返し、斜行が修正されましたら終了です。

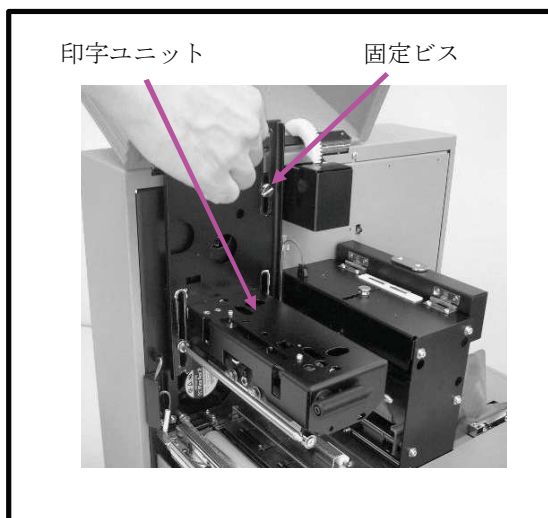
■ リボン剥離板の取り付け方

箔印刷等の冷時剥離リボンを使用する場合に取り付けてください。

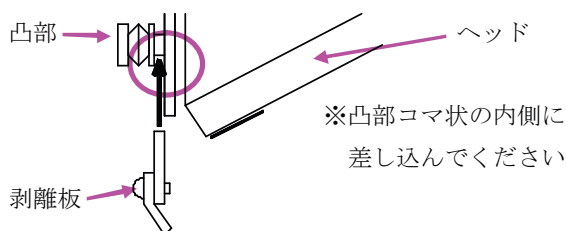
※箔印字を行う際は、ドライバからの箔印字指定が必要になります。(後記ドライバ編参照)

①固定ビスをマイナスドライバー（コイン等）で緩め、印字ユニットを上に取り上げます。

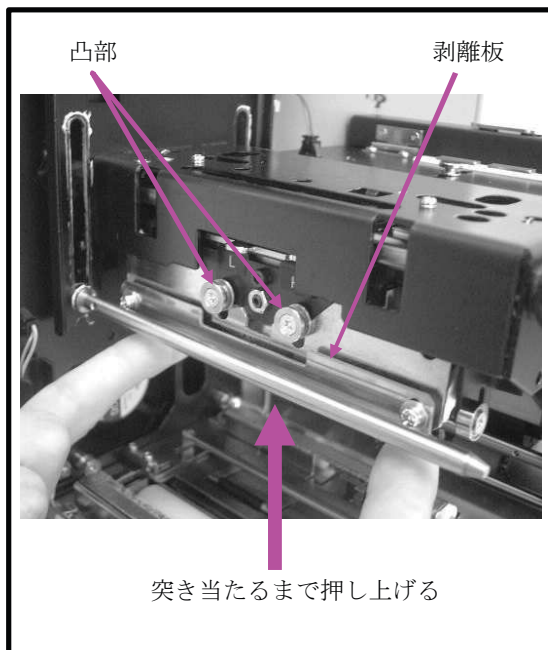
②一番上まで引き上げたら固定ビスを締め、印字ユニットを固定させます。



③剥離板の凹部を印字ユニットの凸部に合わせ、ヘッドと剥離板が平行になる様上にはめ込みます（突き当たるまで押し上げてください）



④印字ユニットを元の位置に下げ、固定ビスを締めたことを確認し、ご使用下さい。



<ご注意>

箔印刷時は印字不可エリアが変わります。

- ・通常印刷の印字不可領域：用紙後端 2 mm 以内
- ・箔印刷時の印字不可領域：用紙後端 6 mm 以内
- ・ヘッド圧は **L** にて設定ください

●各部の清掃

■プリンタヘッド、プラテンの清掃

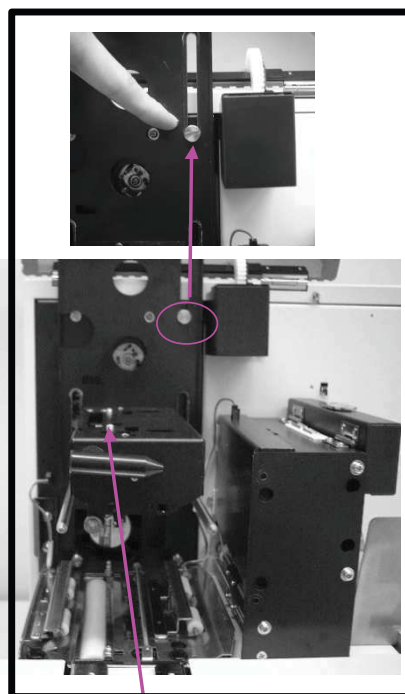
月に1度は必ず実施して下さい。

1. 印字ユニット固定ビスを緩め、印字ユニットを上を持ち上げます。一番上まで引き上げたら固定ビスを締め、印字ユニットを固定させます。

注：プリンタヘッドの清掃は専用のクリーニングペンを御利用下さい。(同梱品)
○Aクリーナー等は絶対に使用しないで下さい。



ヘッド端面を清掃

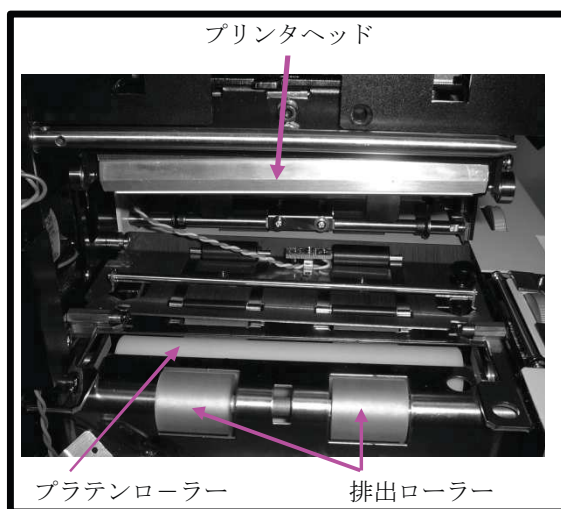


印字ユニットを持ち上げた状態

2. プリンタヘッドは添付のクリーニングペンで端面の汚れを清掃します。
プラテン・排出ローラーは添付のクリーナーで表面の汚れを拭き取り清掃します。



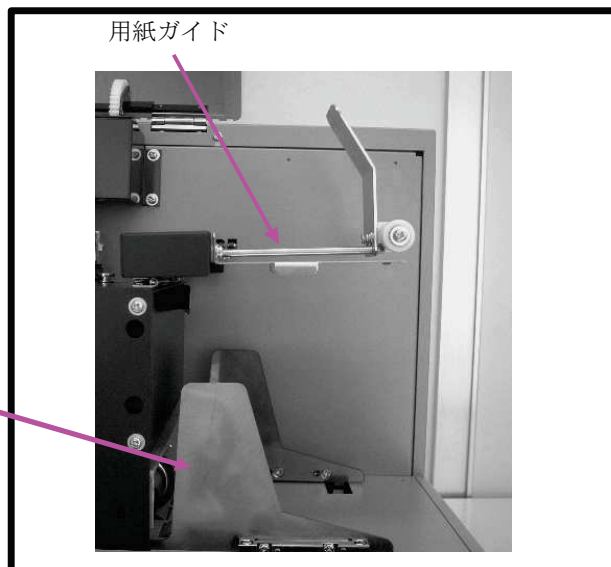
クリーナー



■取り出しローラーの清掃

1. ホッパーガイドを左右最大に広げます
2. 給紙部の用紙ガイドを持ち上げます。
(マグネットに付き止まります)

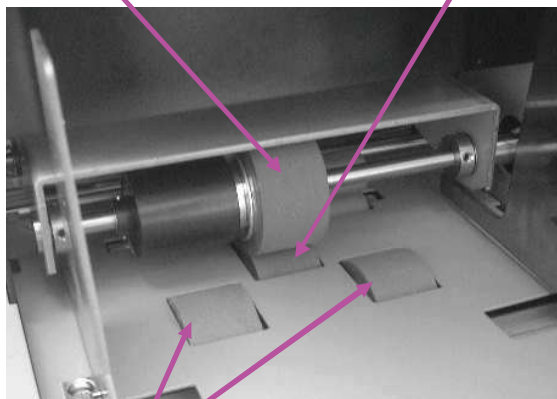
ホッパーガイド



3. この状態で取り出しローラー、
正転ローラー、逆転ローラーを専用の
プリントヘッドクリーナーで清掃します。

逆転ローラー

正転ローラ



取り出しローラー

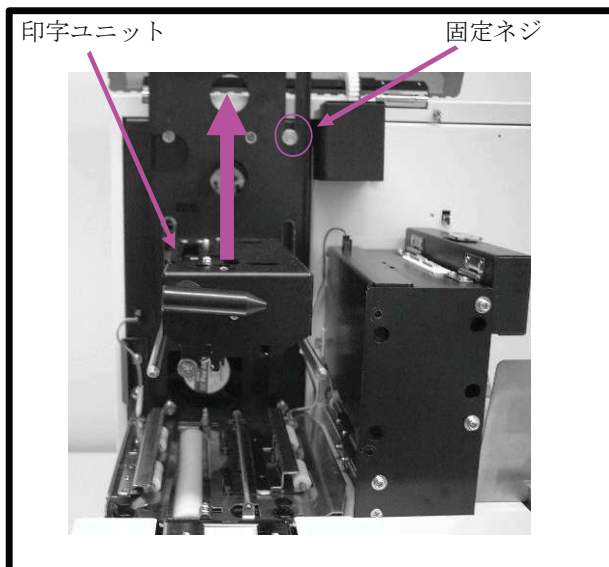
3. 清掃後、用紙ガイドを戻して下さい。

■第一ピンチローラーの清掃

1. 印字ユニット固定ビスを緩め、
印字ユニットを上を持ち上げます。
一番上まで引き上げたら固定ビスを
締め、印字ユニットを固定させます。



クリーナー



2. 印字ユニット側から第1ピンチローラー
が見えます。
付属のクリーナーにて拭き取り清掃を
行ってください。
手が届き難いところは付属のクリーニング
シートを通して清掃してください



クリーニングシート



第一ピンチローラー

※ シートに手順が記載されておりますので
順番に従って行ってください。

■センサーの清掃

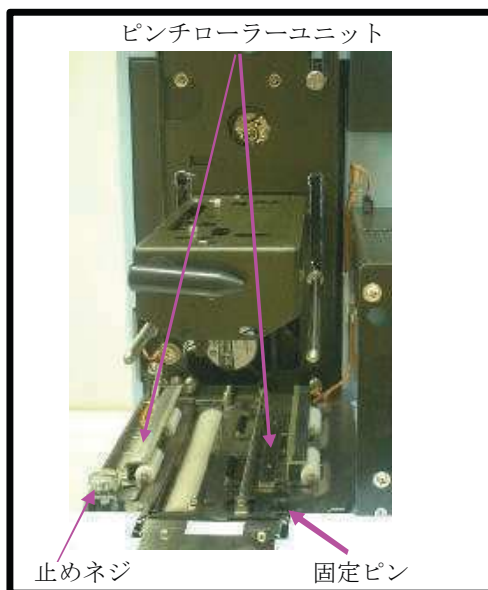
1. 印字ユニットを持ち上げます。

ピンチローラーユニットを固定している固定ピン・止めネジを外しますと、ピンチローラーユニットがそれぞれ持ち上げることが出来ます。

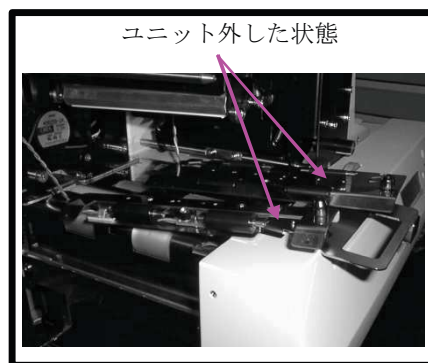
※各ユニットにはセンサーのケーブルが接続していますので、取扱には十分気をつけてください。



固定ピン（1カ所あります。）

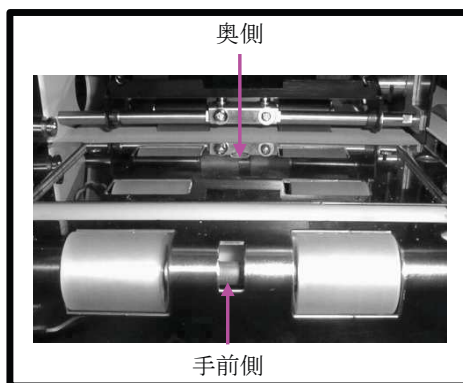


2. 各ユニット中央にガラス玉が確認できますので、添付のクリーナーでガラス表面を清掃します。



3. 本機手前と奥側にセンサーが確認できますので、奥側のセンサーは表面を、手前側のセンサーはエアダスターなどを使用してガラス表面の紙粉などを吹き飛ばします。

4. それぞれのふき取り、ピンチローラーユニットをセットし、固定ピン・止めネジでそれぞれを固定したら終了です。



●オプション品と消耗品

本機には下記の様なオプション品と消耗品が用意されています。

インクリボン

商品名	発注単位	標準価格	1個当たり単価
DPR104 ファインブラック	5本	22,500	4,500
DPR105 コートファインブラック	2本	10,000	5,000
DPR201 ライトグレー	2本	16,000	8,000
DPR202 ライトレッド	2本	16,000	8,000
DPR203 ダークグレー	2本	16,000	8,000
DPR204 レッド	2本	16,000	8,000
DPR205 オーシャンブルー	2本	16,000	8,000
DPR206 ブルー	2本	16,000	8,000
DPR207 ダークブルー	2本	16,000	8,000
DPR208 ライトグリーン	2本	16,000	8,000
DPR209 ダークグリーン	2本	16,000	8,000
DPR210 ブラウン	2本	16,000	8,000
DPR211 ゴールド	1本	13,000	13,000
DPR214 シルバー	1本	13,000	13,000
DPR212 金箔	1本	20,000	20,000

※1本当たり名刺で4,500枚、はがきで1,800枚以上印字可能です

但し、金箔につきましては はがきで1,300枚以上となります

オプション品

商品名	入数	標準価格	備考
リボンスプール軸	2本入り	16,000円	リボン交換をスムーズに
リボンカセット	1個入り	30,000円	リボン交換用
プリントヘッドクリーナー	5袋入り	1,000円	ローラー等のクリーニング用
ヘッドクリーナーペン	1本入り	600円	ヘッドのクリーニング用
クリーニングシート	10枚入り	3,800円	搬送系ローラーのクリーニング用

消耗部品

プリンタヘッド 98,000円／1本

ローラー 個別ご提示

プリンタドライバ 編

1. インストール

本プリンタで印刷を行うには、「プリンタドライバシステム」が Windows にインストールされていなければなりません。このドライバシステムがインストールされていなければ、最初にドライバシステムのインストール作業を行って下さい。

「プリンタドライバシステム」は付属の CD または、弊社ホームページからもダウンロードできます。

1.1 パラレルインターフェイス接続にてプリンタドライバのインストールをする場合

(以下手順は Windows XP を想定しております、Windows 2000/Windows Vista の場合は表示内容が若干異なります。)

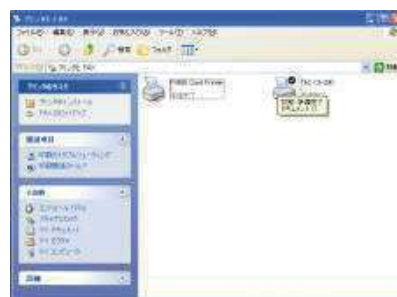
1) Windows を起動します。

2) インストール用 CD “Digica セットアップディスク” を PC の CD ドライブに挿入します。

3) スタートボタンをクリックし、スタートメニューの
“プリンタと FAX” をクリックします。



4) 「プリンタと FAX」ダイアログが表示されます。
「プリンタのインストール」をダブルクリックします。



5) 「プリンタの追加ウィザード」ダイアログが表示されます。
「次へ(N)>」ボタンをクリックします。



6) プリンタ接続先の設定

① プリンタを直接接続する場合

- ①-1 「... ローカルプリンタ(L)」を選択します。
「プラグアンドプレイ... (A)」のチェックを入れ、「次へ(N)>」ボタンをクリックします。



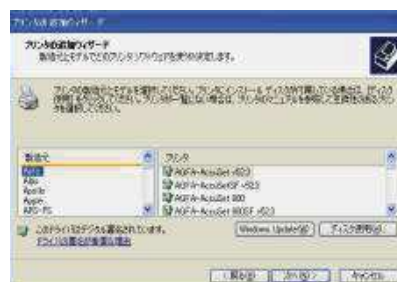
- ①-2 「新しいプリンタの検出」ダイアログが表示されます。「次へ(N)>」ボタンをクリックします。



- ①-3 プリンタポートの選択
次のポートを使用(U)で「LPT1(推奨プリンタポート)」を選択し、「次へ(N)>」ボタンをクリックします。



- ①-4 プリンタを選択するダイアログが表示されます。
ディスクの使用(H)をクリックします。



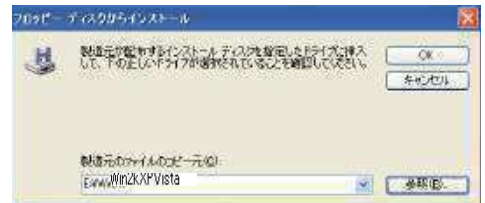
- ①-5 「フロッピーディスクからインストール」ダイアログが表示されます。
「参照(B)」ボタンをクリックします。



- ①-6 「ファイルの場所」ダイアログが表示されます。
ファイルの場所で、CD ドライブを選択し、
Digica をクリックし、「開く(O)」をクリックし
ます。



- ①-7 製造元ファイルのコピー元(C)で
「E:\Win 2 k XPVista」
を確認し、「OK」をクリックします。



- ①-8 「Yamazakura Digica」を選択し、「次へ(N)>」
ボタンをクリックします。



- ①-9 プリンタ名 “Yamazakura Digica” を入力し、
通常使うプリンタとして使いますか？では
「はい(Y)」を選択します。
「次へ(N)>」ボタンをクリックします。



- ①-10 プリンタの共有は「しない(O)」にチェックをし、
「次へ(N)>」ボタンをクリックします。



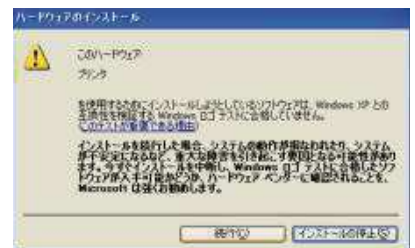
- ①- 11 テストページを印刷しますか？は「いいえ」にチェックをし、「次へ(N)>」ボタンをクリックします。



- ①- 12 「完了」ボタンをクリックします。



- ①-13 確認のメッセージが出ますので「続行(C)」をクリックすると、インストールを開始します。



② プリンタをネットワークで接続する場合

- ②-1 「ネットワークプリンタ... (E)」を選択します。
「次へ(N)>」をクリックします。



- ②-2 「プリンタを参照する(W)」を選択します。
「次へ(N)>」をクリックします。



- ②-3 ネットワーク先を選択し、「次へ(N)>」をクリックします。



- ②-4 通常のプリンタとして使いますか？「はい(Y)」を選択し、「次へ(N)>」をクリックします。



- ②-5 「完了」をクリックするとインストールを開始します。



1.2 USBインターフェイス接続にてプリンタドライバのインストールをする場合

(以下手順は Windows XP を想定しております、Windows 2000/Windows Vista の場合は表示内容が若干異なります。)

●Windows でUSB接続により使用する場合は以下の条件のコンピュータをご使用ください。

- USBに対応しており、コンピュータメーカーまたはUSBポート供給メーカーによりUSBポートが保証されているコンピュータ。
- Windows 2000/XP/Vistaのいずれかがインストールされているコンピュータ。

●ご用意いただくケーブル

- USBケーブル

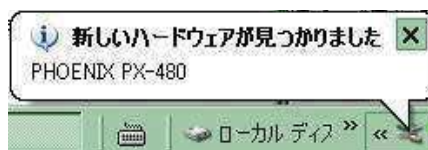
USB 2.0規格で接続する場合は使用するケーブルもUSB 2.0対応品をご使用ください。

※USBケーブルはコンピュータまたは、プリンタの電源が入っている状態で抜き差し出来ませんが、プリンタドライバインストールの際はプリンタの電源をお切りになり、インストールするようお願いします。また、他のアプリケーションが起動している場合、正常にインストールされない場合がありますので、全て終了させてから行ってください。

1.2.1 インストール手順1

1) PC と USB ケーブルで接続します。

*新しいハードウェアが見つかりました。
というメッセージが表示されます。



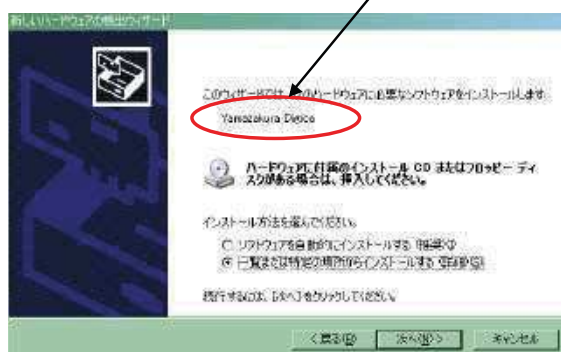
2) 新しいハードウェアの検出ウィザードの
開始画面が表示されます。

いいえ、今回は接続しません (I) を選択して、
「次へ」をクリックします。

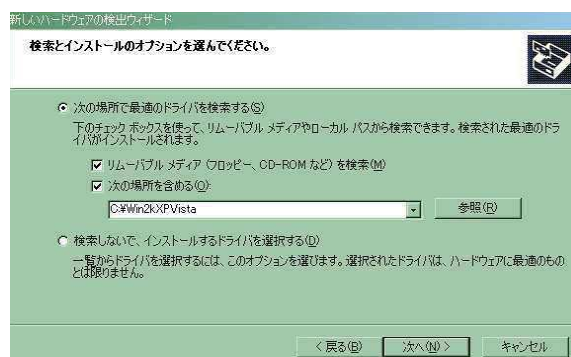


- 3) 「一覧または、特定の場所からインストールする」
を選び、「次へ」をクリックします。

プリンタの機種名表示



- 4) 「次の場所で最適なドライバを検索」「次の場所を含める」
を選択し、プリンタドライバの場所を「参照」ボタンで
指定して、「次へ」をクリックします。



- 5) 「続行」をクリックします。



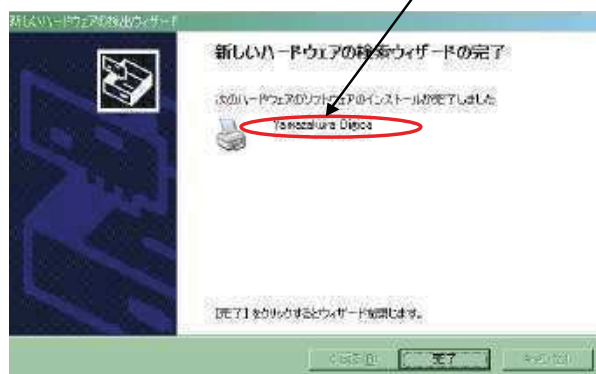
※ インストールが開始します。

プリンタの機種名表示

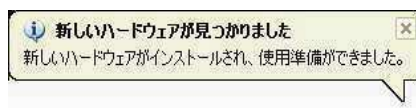


プリンタの機種名表示

6) インストール完了です。

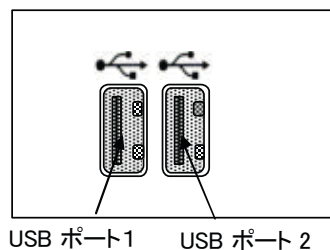


「完了」ボタンをクリックすると、右のメッセージが表示されて、インストールが完了します。



《 注意事項 》

プリンタドライバは、PC の USB ポートごとにインストールする必要があります。例えば、右図のように PC に USB ポートが2つある場合、USB ポート 1、USB ポート 2 それぞれプリンタと USB ケーブルで接続し、ドライバをインストールします。一度、インストールすれば、再度インストールする必要はありません。



1.2.2 インストール手順2 【 インストールできない（印字できない） 場合 】

「スタート」→「プリンタと FAX」を選択すると、
以下のようなウィンドウが表示されます。



インストールされているプリンタのリストの中に、
YamazakuraDigica プリンタが表示されていれば、
2) に進んでください。

- 1) 該当のプリンタが表示されていない場合は
以下の手順で、手動によりプリンタドライバを
インストールします。

- ① 「スタート」→「プリンタと FAX」→「プリ
ンタのインストール」を選択するとプリンタ
の追加ウィザードが起動します。



「次へ」をクリックすると、以下のような
メニューが表示されます。



「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」にチェックして、プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールのチェックを外します。

- ②「次へ」をクリックすると、プリンタポートの選択画面となります。

USB*** (Virtual printer port for USB) を選択します。

(とりあえず、ここでは、USB***のどれかを選択しておきます。)

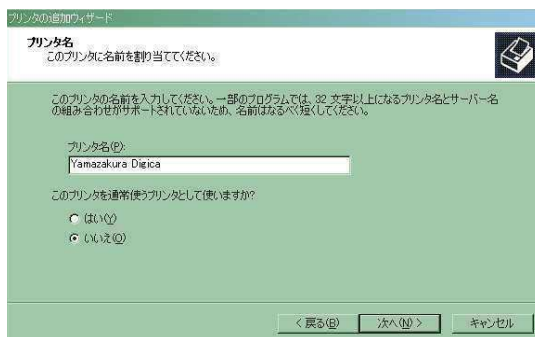


「次へ」をクリックして、インストールするプリンタを選択します。

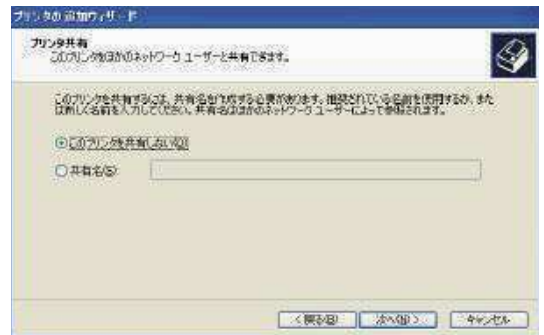
- ③プリンタ名が表示されていない場合は、「ディスク使用」でプリンタドライバがある場所を指定します。



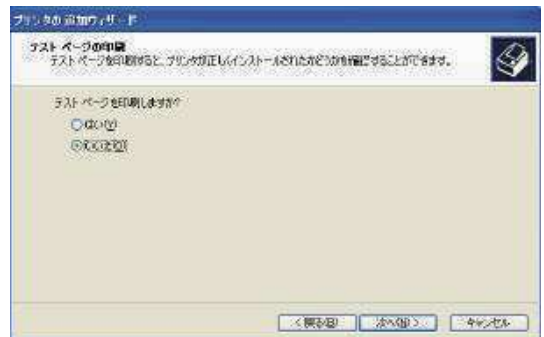
- ④「次へ」をクリックすると、以下の画面が表示されます。



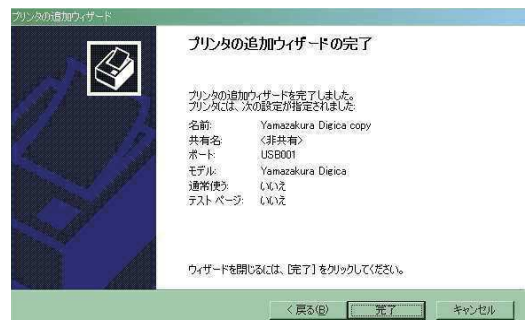
⑤以下、ウィザードに沿って進みます。



⑥テストページ印刷は“いいえ”で次へ進んでください。

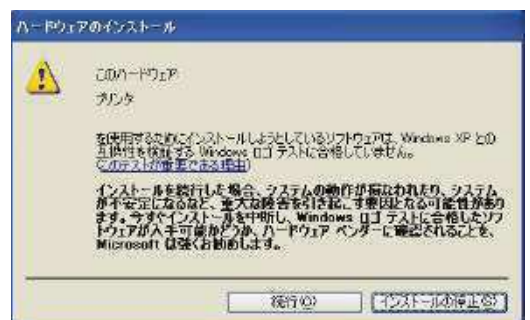


？最後に「プリンタの追加ウィザードの完了」画面が表示されます。
「完了」をクリックすると、ドライバのインストールが始まります。



「完了」ボタンをクリックします。

⑧「続行」ボタンをクリックすると、ドライバがインストールされます。
以上で、プリンタの手動インストールが完了しました。
この後、アプリケーションソフトから印刷が成功すれば完了です。



失敗した場合、次項 2) に進みます。

- 2) プリンタドライバのインストールが出来ているにもかかわらず、印刷ができない場合は、出力ポートが正しく設定されていないことが考えられます。以下の手順で、確認して設定し直します。

- ①「スタート」→「プリンタとFAX」を選択すると、以下のようなウィンドウが表示されます。



- ②インストールされているプリンタ上でマウスの右ボタンをクリックし「プロパティ」を選択します。



- ③「プロパティ」ウィンドウの「ポート」タブを選択します。ポートのリストの中に複数ある「USB***」(***は、数字：001、002など)から、現在選択されているポートと異なるポートにチェックして「適用」ボタンをクリックします



- ④「全般タブ」を選択して「テストページの印刷 (I)」をクリックします。
これで、印刷が出来ると OK です。



- ⑤印刷できなかった場合、まず、残っているデータを削除します。
「スタート」→「プリンタと FAX」を選択してインストールされているプリンタ上でダブルクリックします。
すると、以下のようなウィンドウが表示されますので、溜まっているドキュメント上でマウスの右ボタンをクリックします。
ここで、「キャンセル」を選択し、削除します。



- ⑥次に、②の手順からやり直します。
③の段階で、別の「USB***」を選択します。
この②～⑤の操作を印刷ができるまで繰り返します。

印刷時の各種設定の操作

<Super Mate ご使用の場合>

アプリケーションのプリンタのアイコンを選択すると印刷ダイアログが表示されます。

1. 印刷プロパティ

1.1 使用するプリンタ

「Yamazakura Digica」

1.2 印刷範囲

- ・すべての指定
- ・ページ指定「1 から 1 まで」

1.3 部数

「必要枚数」

*プリンタ設定後最後に入力します。



2. Digicaのプロパティ

2.1 用紙設定のタグ

2.1.1 用紙サイズ

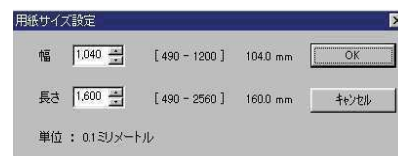
ユーザー定義	(104×160 mm)
はがき	(100×148 mm)
名刺3号	(49×85 mm)
名刺4号	(55×91 mm)
名刺欧米	(51×89 mm)
単カード2号	(103×154 mm)

単カード3号 (109×160 mm) から選択します。



*ユーザー定義の設定は、**ユーザー定義** ボタンを押し、数値を入力して下さい。

幅 490～1200 長さ 490～2560
(幅の設定は‘490’から設定できますが、実際に印字できる最小用紙幅は‘850’です)



2.1.2 用紙方向

縦 (P)

横 (L)

*通常のアプリケーションの場合、縦名刺及びはがきは縦表示、横名刺の場合は横表示されます。



詳細は「主要項目の解説」をご参照ください。

2.1.3 回転印字

しない
90度
180度
270度

*印刷方向を回転させる時に使用します。

*



詳細は「主要項目の解説」をご参照ください。

2.1.4 部数

「必要枚数」入力

2.1.5 バージョン情報

バージョン情報をクリックすると、現状のバージョンが表示されます。



2.2 画質設定のタブ

・ロゴやイラスト等の画像にのみ、反映します。

2.2.1 二値化処理

ロゴ印刷
単純2値化
粗く
細かく
誤差拡散

から選択します。



詳細は「主要項目の解説」をご参照ください。

2.2.2 コントラスト

画像の明るさ、暗さを調整します。



で設定します。

0～255まで設定できます。

*但し、ロゴ印刷は 0～30までです。

標準値

128

ロゴ印刷のみ

標準値

15



詳細は「主要項目の解説」をご参照ください。

2.2.3 エッジ処理（文字の修飾に反映します）

強調…強調処理を行います。（標準設定 “する”）

する
しない

から選択します。


シャープネス…シャープネス処理を行います。（標準設定 “しない”）

する
しない

から選択します

しない

*シャープネス処理で「しない」を選択すると、文字ごとに最適なエッジ処理を行っていますが、さらに文字のエッジをシャープに出力したい場合「する」を選択して下さい。

 詳細は「主要項目の解説」をご参照ください。

2.3 動作設定のタグ

2.3.1 印字濃度

印字の濃さ、薄さを調整します。



で設定します。

標準値

10

1～20まで設定できます。

（ロゴ等画像が入る場合には幾分設定値を低くしてください）

注 詳細は「主要項目の解説」をご参照ください。

2.3.2 印字速度

印字の速さ、遅さを調整します。




で設定します。

標準値

50


20～65まで設定できます。

（但し実際40～55の範囲でご使用ください）

 詳細は「主要項目の解説」をご参照ください。


2.3.3 印字位置補正

縦・横の印字位置を補正する事が出来ます。

 詳細は「主要項目の解説」をご参照ください。

2.3.4 金箔印刷

金箔を印刷する際に設定を行います。

 詳細は「主要項目の解説」をご参照ください。



主要項目の解説

3. 主要項目の解説

1 用紙設定の詳細

縦名刺…プロパティ内の用紙方向	“縦”	回転90° 又は270°
横名刺…プロパティ内の用紙方向	“横”	回転しない 又は180°
はがき…プロパティ内の用紙方向	“縦”	回転しない 又は180°
はがき…プロパティ内の用紙方向	“横”	回転90° 又は270°

2 画質設定の詳細

- ・二値化処理とコントラスト

画質設定は、BMP 等の画像に影響する設定項目です。

画質設定は、画質モードとコントラストにより印刷内容が変化します。

2.1 二値化処理（初期値は“単純二値化”“128”です）

モード	コントラストの範囲	標準値	主な目的
ロゴ印刷	0～30	15	ベタ物のロゴ等を印刷する場合に使用
単純二値化	0～255	128	白黒に二値化され、ハフトン物は線画となります
粗い	0～255	128	ハフトン物の色を淡く、グレーに近く出したい時に使用
細かい	0～255	128	ハフトン物を平均的に印刷する場合に使用
拡散	0～255	128	写真物を印刷する場合に使用（Digica では写真はきれいに印刷されませんので、ご注意下さい。

●使用方法

- ・ベタ物のロゴ等の場合 ————— ロゴ印刷又は単純二値化
- ・年賀状の絵柄等のハフトン（階調が有るもの） — 細かい

（注）①画面上の画像に、黄色等の明るい色をつけている場合には、必ずロゴ印刷で印刷して下さい。

②フルカラーの画像を Digica でモノカラー出力する場合、美しく出力されない場合があります。画像処理ソフトでグレースケールに直してからご使用される事をお勧めします。

2.2 コントラスト

- ・コントラストは、数値を大きくする程明るくなり、小さくする程暗くなります。
- ・標準値は、ロゴ印刷“15”、他のモード“128”となっております。
最初は、標準値で印刷してみてください。
- ・ロゴ印刷、単純二値化のモードを選択した時は、コントラストは標準値でお使い下さい。

2.3 エッジ処理

- ・強調…細い線等のかすれやすい文字に対しドライバーソフト上で補正し、やや太くしてかすれるのを防止する機能を持ちます。(初期設定は 強調 ‘する’)

する	…強調処理を行います
しない	…強調処理を行いません

- ・シャープネス…つぶれやすい文字に対しドライバーソフト上で補正し、描線間の空白を強調
- ・強調し、
- ・印刷時の線間つぶれを減少させる機能を持ちます。(初期設定は シャープネス ‘しない’)

する	…強制的に書体、ポイントに関係なく補正します。
しない	…自動的に書体、ポイントを判断し補正をコントロールします。

*初期設定は 強調 ‘する’ シャープネス ‘しない’

3 動作設定の詳細

3.1 印字濃度

- ・ 1 ～ 20 の範囲で自由に設定
- ・ リボンの種類により濃度の設定は変化します。

*初期設定は ‘1 0’

*カラーリボンや画像が入る場合には、濃度を低くした方がきれいに印字されます。

3.2 印字速度

- ・ 20～65の範囲内で自由に設定。(実質40～55の範囲でご使用ください)
(※この数字は、 $\times \text{mm} / \text{秒}$ を示します。)
- ・ 数値を大きくする程、速くなりますが設定値の範囲の目安は40～55で、これ以上速くすると印字品質が低下したり、重送、給紙不良が発生しやすくなります。

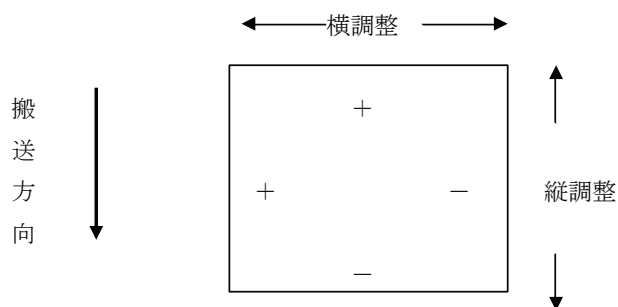
*初期設定は ‘50’

3.3 印字位置補正

縦・横の印字位置を補正する事が出来ます。(約 0.1mm 単位)

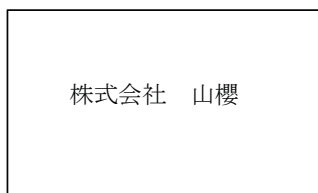
縦補正 (+4mm~-4mm) 横補正 (+2mm~-2mm)

*用紙方向・回転方向に関係なく、搬送方向によって調整します。



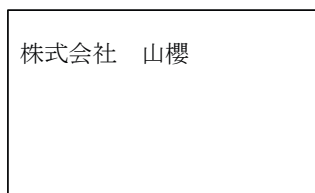
例) 横名刺 回転印字 180° の場合

位置調整前



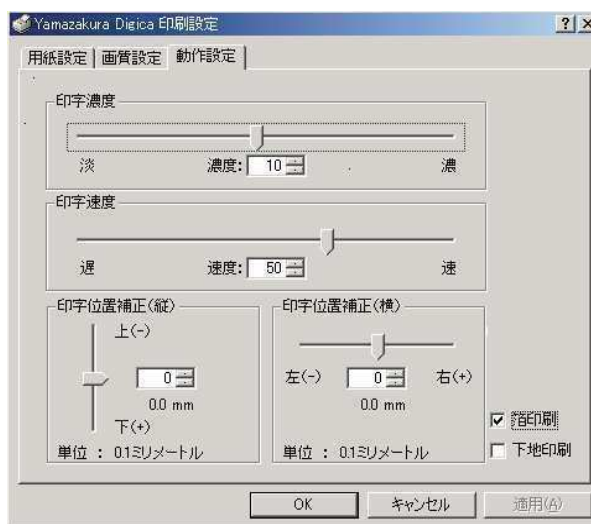
搬
送
方
向
↓

調整後 (縦・横 + 方向に動かしました)



3.4 金箔印刷

- ・箔印刷の場合（金箔リボンでの印字）



金箔リボンにて印刷する際は、箔印刷のチェックボックスをチェックして「OK」ボタンをクリックします。

（下地印刷のチェックボックスがチェックされていると、自動的にチェックが外れます。）

※ 通常印刷をする際は、箔印刷 ・ 下地印刷両方のチェックボックスのチェックを外して「OK」ボタンをクリックします。

文字を美しく印字させるテクニック

用紙の種類や書体・ポイント数により異なりますが、おおよそ下記の手順で実施してみてください。

1) 書体に合わせたシャープネスの設定

7 ポイント以下の文字及び、つぶれる文字があるときに有効です

- ・通常の場合には、シャープネス「しない」に設定してください。これにより自動的に書体とポイントを判断して最適な文字補正を行います。描線間の空白を強調します。
- ・シャープネス「する」に設定すると、強制的に書体やポイントに関係なく文字のエッジを細くします。勘亭流や江戸文字、POP 体など極太書体に有効です。
- ・細線強調は通常「する」に設定してご使用ください。

2) 濃度に合わせた設定

- ・ファインブラックリボンの使用

濃度 7 ～ 10 でご使用ください。但し画像が入る場合にはやや濃度を落としてご使用ください。濃度が高くなりすぎると①文字や画像が薄く印字される、②画像上に「しわ」や「穴あき」、「リボンの溶けかすの付着」等が発生します。

- ・コート紙用リボンの使用

ミラー等のコート紙に印字する場合にご使用ください。普通紙を使用される場合でも両面印刷をする際、汚れや裏うつりが発生することがあります。その場合にコート紙用リボンをご使用ください。

- ・カラーリボンの使用

濃度を落としぎみに設定してください、発色が良くなります。

＜上記の設定でも美しく印字されない場合＞

- ① 印刷スピードを「50」→「40」に下げる。
- ② 回転印刷で印刷してみる。
- ③ ヘッド圧（メカ機構）を「L」→「H」に設定する。

※但し、上記設定は用紙の種類や機械の固体差がある為あくまで目安となります。

3) 用紙に合わせた設定

使用できない用紙

0.38mm 以上の用紙・レザック・エンボス・桐・トレーシング・ざらざらした和紙・厚手の大札紙等。

条件付で使用可能用紙

○コート系用紙（ミラー・ダイヤ・ルビー・ロマン等）…通常の黒リボンでは裏うつりすることがあるので、専用コート系黒リボンをご使用下さい。

※専用コート系黒リボンをご使用になられても印刷ののりが良くない場合は、ヘッド圧「H」で印刷すると美しく印字されます。

用紙による設定目安

プリンス・エリート・マイルド等の用紙は、濃度をデフォルト値よりやや低めに設定。

ケント紙・コート紙・マット紙等はデフォルト値よりやや高めに設定。

●アフターサービスについて

本機を安心してご使用いただくために、当社では保守サービスを行っております。
ここに保守サービスについてご説明申し上げます。

1. 保証期間中の保守サービス

正常なご使用のもとにおける故障については、納入後6ヶ月間は保証期間とし、
消耗品を除き無償で修理いたします。

(返送修理にて実施いたします)

保証期間等の詳細は保証書又は「保守サービスのご案内」をご覧ください。

※消耗部品・・・プリンタヘッド、ローラー

2. 保証期間がすぎたあとの保守サービス

下記の2種類があります。

(1) 契約保守サービス

お客様と弊社と保守契約を締結させていただくことにより、及び正常なご使用
のもとで生じた故障の修理を弊社が責任を持って行います。

年間一定料金契約となっておりますので、万一故障などが生じても安心です。

・返送保守と訪問保守の2種類が選択できます。

(2) 無契約スポットサービス

故障が発生した時点で、お客様のご要望により、スポットでそのつど修理する
方式です。

この場合は、交換部品代、技術料、及び証経費を有償とさせていただきます。

Apple、Macintosh、PowerMacintosh、PowerMacG3 G4、iMac、MacOS は
米国その他の国で登録された米国アップルコンピューター社の商標です。
その他本書に記載されている会社名、商標名は各社の登録商標です。

- 本説明書の全部または一部の複製・修正・転記する事を禁止します。
- 本説明書の内容について、将来予告なく変更する場合があります。
- 本プリンタを運用した結果については一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 本説明書に記載されている画面表示・説明図につきまして、一部異なる場合がございますので予めご了承ください。

<お問い合わせ先>

株式会社 山櫻 企画部 カスタマサポートセンター
TEL.03-5543-2596 FAX.03-5543-6328

DigicaRev.4 プリンタユーザーズガイド

Copyright 2005 Yamazakura,co.Ltd.Printed in Japan

2008 年 5 月第1版発行

発行元 株式会社 山櫻

〒104-0041 東京都中央区新富 2-4-7

乱丁、落丁はお取替え致します